

(様式1)

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業

研究実践計画書

1 学校名

伊自良村立 伊自良中学校

2 研究実践の概要

(1) 地域素材のVODデータベース

地域素材を教材化するためにも、伊自良村に関する自然、歴史に関するものの資料を集め、コンピュータを使って記録、蓄積、管理することを目的とする。特に1年生の総合的な学習においては、学年のテーマを「環境」とし「身近な環境」を学習の柱とし、生徒の手で集めてきた情報をコンピュータにストックしている。そして、地域学習の深化・拡充・活用と幅を広げている。2年目にあたる今年は積極的に地域素材を集めるため、デジタルカメラなど機器の貸し出しを行う。

(2) 「わかる授業、楽しい授業の実践」

コンピュータを利用することで、さらに深まりのある授業を行うことを考えるならば、コンピュータの特徴を生かした授業が必要。教室の学習環境を整えること、教材となる資料、画像の提示を行い、豊富な教材を利用することで興味・関心、学習の意欲づけを行う。

また、わかる授業、楽しい授業を求めるには、指導側のスキルアップが重要な鍵となる。資料、教材をつくり出す指導側の力を磨くことに重点を置いて、教材をつくる研修会をもつこととする。

(3) 高速大容量回線を用いた学校間等の連携

平成13年度から行われている岐阜希望が丘養護学校とのテレビ会議による交流を継続する。テレビ会議システムを利用した事前の活動や話し合い、発表ができるようにする。

3 年間計画

月	研究内容	備考
4	○情報機器の説明	現職教育
5	○希望が丘養護学校とのテレビ会議による打ち合わせ	2年生の交流
6	○宿泊研修など行事の記録 ○学校ホームページの更新	
7	○職員研修 「学校にある機器の利用方法と教材への生かし方」 「プレゼンテーションソフトの利用の仕方」	
8	○職員研修 「情報発信の方法(ホームページの作り方)」 「プレゼンテーションソフトの利用の仕方」	
9	○1年生のフィールドワークのまとめ ○伊自良村の歴史的旧跡、文化財、産業などの素材をデジタルコンテンツになるように記録する。	集めてきた写真を分類
10	○合唱祭をビデオに記録し他校との交流に利用するコンテンツをつくる。 ○1年生のフィールドワークの財産をホームページにて発信する。	
11	○研究発表において情報教育の一提案を行う 技術・家庭科「情報機器を利用する価値」	11月6日 村指定研究発表会
12	○希望が丘養護学校とのクリスマス交流の準備のためのテレビ会議	1年生の交流
1	○ホームページの更新	
2	○希望が丘養護学校との「お別れ交流会」の打ち合わせに、テレビ会議を利用する。	生徒会執行部
3	○テレビ会議を利用して希望が丘養護学校と次年度に向けた計画を立てる。	

